会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟			
	理事会、診療報酬改定対策強化推進部会、代議員ネットワーク検討部会			
担当業務 日本理学療法学術研修大会、災害対策支援マニュアル作成ワーキングチー				
	リハビリテーション医療関連団体協議会			
	前記に附帯又は関連する調査・調整等			

内 容			
日付	他団体	会議名	場所
1月11日		理事会	日本理学療法士協会会館
1月11日		組織強化対策本部会議	日本理学療法士協会会館
1月20日	\circ	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
1月21日		令和8年度診療報酬改定に向けた検討会	オンライン
1月22日		令和8年度診療報酬改定に向けた検討会	オンライン
1月22日		日本理学療法学術研修大会第13回渉外部会議	オンライン
1月27日		日本理学療法学術研修大会準備委員会	オンライン
1月27日	\circ	リハ専門職団体協議会 第3回 報酬改定委員会	オンライン
1月28日		業務執行理事会	オンライン
2月1日		理事懇談会	オンライン
2月10日	\circ	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
2月10日		災害対策支援マニュアル WT 会議	オンライン
2月14日	\circ	日本理学療法士連盟主催研修会	新橋カンファレンス
2月18日		業務執行理事会	オンライン
2月25日		疾患別リハ料のコード化に関する意見交換会	オンライン
2月26日		日本理学療法学術研修大会準備委員会	オンライン
3月1日		理事会	日本理学療法士協会会館
3月4日		日本理学療法学術研修大会第14回渉外部会議	オンライン
3月11日		各ネットワーク検討部会長会議	オンライン
3月17日	0	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
3月25日		業務執行理事会	オンライン
3月25日		日本理学療法学術研修大会準備委員会	オンライン
3月31日		各ネットワーク検討部会長会議	オンライン
3月31日		日本理学療法学術研修大会第15回渉外部会議	オンライン

【全国リハビリテーション医療関連団体協議会】

所感

外部委員として本会役員の立場で、月に一回開催される協議会へ出席している。 他団体との情報共有や連携の中で、次期診療報酬改定が業界ひいては国民にとって より良い制度となるよう尽力する。

【令和8年度診療報酬改定に向けた検討会】

現場に即した要望内容を検討する当該検討会を傍聴し、担当する令和 8 年度診療報酬改定対策強化推進部会にて、対策を強化する総合的な検討ができるよう知見の 集積に努める。

【リハビリテーション専門職団体協議会 報酬改定委員会】

理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の 3 団体が参画する協議会を傍聴、 各団体の要望を理解し、今後の議論に活かすべく引き続き情報の収集に努める。

【疾患別リハビリテーション料のコード化に関する意見交換会】

今後の診療報酬改定に備えるために知っておくべき情報として「生活期リハビリテーションにおける標準コードの研究」について等、意見交換をした。疾患別が制度化されてから20年、時代に沿う現場目線での診療報酬改定となるよう引き続き、情報取得に努め制度政策に活かせるよう微力を尽くす。

【災害対策・支援マニュアル作成ワーキングチーム会議】

今後高確率で大災害が発生することが予想されていること等を踏まえ、過去の経験にならい、本会として大規模災害に対応するマニュアル等、災害支援業務計画案を作成している。有事の際に円滑に活動する計画を示すため、更なる議論を深め、検討していく。

【理事会および理事懇談会】

本会職員への 2025 年度特別手当の支給について

給与面で退職される方が一定以上いる中 15 年以上、給与表の改定が行われていない。単年度の支給に関して、長期的なエンゲージメントの促進、定着率の向上をうたうのであれば、この単年度支給が有効かどうかは見極める必要がある旨、提議した。

OSCE・CBT をガイドラインに追記することについて

現在、理学療法教育においては指定規則によって臨床実習前後の評価を実施するよう定められているが、共用試験は実施されていないため、各養成校で判断して臨床実習への参加を決定しており、一定の質が担保されている状況とは言いがたい。 夜間・昼間、3年制・4年制、短大・大学など複数の教育体制がある中、現状のまま推進するには時期尚早ではないか。4年制大学化という教育体制の統一が図られた後に進めるべきである旨、提議した。

本会が目指す DX 及び AI における取り組みについて

AI や DX の概念は広く的を絞らなければ散在してしまう。具体性に欠けるため、目指すべきビジョンに加え、電話応対など即時対応可能なものを提案した。また、会員が容易にアクセスできるアクセシビリティの問題、使いやすく役立つユーザビリティの担保と同時に、セキュリティの問題が重要であり、本会が示したことの先には使用者、ユーザーがいる。早い段階でデータサイエンスの専門家を入れ、議論展開をすべきである旨、提案した。ビッグデータを扱うのであれば、システム設計者などを入れながら進めていけるよう働きかけていく。

賛助会員の退会について

本会の理念に共感し、公益に資する活動にご支援いただいている賛助会員の位置づけはとても重要であり、入退会のガイドラインを作成するなどして、共通理解のもとで進める必要があり、対応の仕方は見える形にした方がよい旨を提案した。

理学療法士以外への就職・転職についての調査報告について

処遇改善に係る要望の根拠資料として活用することを目的に行った本調査、結果 については、都道府県理学療法士会にも共有するとよい旨を提案した。

【ネットワーク検討部会 部会長会議】

次期事業としての枠組みなどを議論した。これまで事業化を検討する部会として 議論を深めてきた。今後、他の部会と意思疎通を図りながら検討していく。

【日本理学療法学術研修大会準備委員会】

本年 5 月開催に向け、広報部および渉外部担当として鋭意準備を進めている。盛会となるよう過去の経験を踏まえ微力を尽していく所存である。

【業務執行理事会】

傍聴が認められているため毎回傍聴し、所管する理事会等での建設的な議論・意見提起につなげられるよう努める。

【日本理学療法士連盟研修会】

制度政策の実現には、想いだけでは叶わない。理事会等での発言の場で実行可能な議論を展開するため、政治に関する知見を集積することが重要である。今後も広く情報の取得に努め、職務を遂行していく。

【組織強化対策本部会議】

協会役員一丸となって知恵を出し合い議論を深め、強い組織を形成できるよう尽力する覚悟である。現場の声を反映させるべく会員の声を俎上に挙げる努力を続けていく。

その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。

報告日 2025年4月14日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。